

車内運行情報管理システムについて

- ・車内放送用の音声合成放送装置を中心に平成10年度に整備
- ・運行情報の総合的な管理を行う市バス運行の基幹システム

①車内停留所名表示器

- ・次の停留所名等を案内する機器
- ・車内前方に設置

21インチの大型液晶モニターにより、多彩な情報表示

- 大型液晶表示化
 - ・視認性の向上
- 多機能化
 - ・複数停留所の表示
 - ・言語バリアフリー対応(英語、中国語、韓国語、ひらがな)

③案内放送

- ・車内、車外への案内放送

- 放送内容の充実
 - ・日本語のほか英語でも放送
 - ・女声による案内放送のほか、男声による注意喚起放送

②系統設定器

- ・運転手が当日の運行データを設定する機器
- ・運転席右側に設置

- 大型液晶表示化
 - ・視認性の向上、行先等の確実な確認
- 設定作業の効率化
 - ・系統ごとに入力⇒当日の全系統を一括入力
- 各停留所の通過予定時刻を表示

音声合成放送装置

その他関連機器

- ・安定した連携を確保



行先表示器
(車外の前後・側面)

市バスナビ



IC料金箱



ダイヤ編成システム